

## ガボン共和国月報（2016年2月）

2016年2月号  
在ガボン日本国大使館

### 主な出来事

#### 【内政】

- ボンゴ大統領によるオートオグエ州訪問
- 野党及びNGOによる市民協定署名
- PDG幹事長及び首相による Woleu-Ntem 県訪問
- 「機会均等」政策の開始
- ボンゴ大統領による大統領選挙への出馬表明

#### 【外政】

- ガボン・コンゴ（共）国境紛争
- ガボン・ロシア協力
- ボンゴ大統領によるエジプト公式訪問
- AU首脳代表団によるブルンジ訪問

#### 【経済】

- スタンダード&プアーズ格付け「ガボンB+」
- 石油価格の自由化
- 中国による水力発電所支援計画
- 中国による職業訓練校の建設
- ボンゴ大統領によるンコク経済特区訪問

#### 【内政】

##### 1 RPG代表による与党批判

ガボンのための結集党（RPG）新年会にて、ポール・ムバ・アベソルRPG代表は、現在の多党制は与党PDGの覇権確保に過ぎず、本年の大統領選挙によって、真の民主制を選択し、現存の政治システムを改革するよう呼びかけた。（2日付UN, 1月31日付GR）

##### 2 野党によるジャン・ピン支持表明

鍛冶工全国連盟（UNAF）、ガボン開発に向けた共通大義（CCDG）、進歩自由連盟（ULP）のジャン・ピン支持に続いて、6日、ルイ・ガストン・マイラ新しい共和国のための人民連合（UPNR）代表は、政権交代のための連合（UFA）及び改革推進連合（UFC）党員の立会いのもと、ジャン・ピン支持を表明した。（7日付GR）

##### 3 ボンゴ大統領によるオートオグエ州訪問

8日、アリ・ボンゴ大統領及び大統領夫人は、オートオグエ州の地方農業振興政策「GRAINE」の開始式典に出席した。（9日付UN, 9日付GR）

##### 4 MPDR代表によるPDG批判

14日、ジャン・フランソワ・ントウトウム・エマン再結成に向けた民主・愛国運動（M

PDR) 代表は、ンケンボでの講演において現政権を批判し、次期大統領選挙による政権交代を呼びかけた。(14日付UN, 14日付GR)

## **5 野党及びNGOによる市民協定署名**

11日、野党及びNGOは、政権交代に向けた市民協定に署名し、ジャン・ピン支持を表明した。右機会に、ジャン・ピン元AUC委員長は、本年の大統領選挙への立候補に係る決意を述べ、現政権の打倒に向けて野党に呼びかけた。(15日付UN, 12日付GR, 14日付GR,)

## **6 PDG幹事長及び首相による Woleu-Ntem 県訪問**

13-14日、フォスタン・ブクビPDG幹事長及びオナ・オンド首相は、野党の影響力が強いオイエム及びビタムを訪問し、本年の大統領選挙に向け住民への支持を要請した。(15日付UN)

## **7 第6回UN設立記念の開催**

13日、第6回国民連合(UN)結成記念式典が開催され、ミボトUN代表は、国民に対して選挙者リスト改定作業への参加を促した。また、ミボト代表は、PDGによる不正を批判し、選挙者リスト改定作業にあたり独立した監査機関を要求した。(15日付UN, 14日付GR)

## **8 「機会均等」政策の開始**

23日、アリ・ボンゴ大統領は、政府・外交関係者等を前に、新たに「機会均等」政策を発表した。同政策は、若年層の教育・職能訓練、女性の医療・雇用促進、不正との戦いを掲げ、特権化された政治システムから能力・パフォーマンスを重視した政治システムへの移行を目的としている。(24日付UN, 23日付GR)

## **9 CND臨時総会の開催**

18日、民主主義国家評議会(CND)臨時総会が開催され、代読されたアリ・ボンゴ大統領のメッセージのなかで、国内政治におけるCNDの役割が再度強調された。また、選挙実施年に関連する基本法を変更することは不可能であるとして、市民・社会・文化・政府間の対話によって政治的環境を改善すべきであると強調した。(19日付GR)

## **10 ボンゴ大統領によるポールジャンティ訪問**

28日、アリ・ボンゴ大統領及び大統領夫人はポールジャンティを訪問し、所得形成活動(AGR)への政府支援を実施したほか、道路建設現場を視察し、Farasol-Mbega間の道路建設を開始した。(29日付UN, 29日付GR)

## **11 ボンゴ大統領による大統領選挙への出馬表明**

29日、アリ・ボンゴ大統領は、訪問中のオズーリ(オグエ・マリティム州)にて、2016年後半に実施予定の大統領選挙への出馬を表明した。(29日付AFP)

## **【外政】**

### **1 ガボン・WHO協力**

1日、アリ・ボンゴ大統領は世界保健機関(WHO)アフリカ地域事務局代表と会談し、

保健政策へのWHOの支援可能性について協議した。(11日付UN)

## 2 ガボン・コンゴ(共)国境紛争

客年10月のガボン・コンゴ(共)国境紛争に係る臨時委員会での取決め実施に向け、両国専門家の派遣団はニャンガ州及びングニエ州の国境線の画定作業を実施した。今後、オグエ・イビンド州における国境紛争地域についても同様の作業が実施される。他方、オートオグエ州における国境紛争地域に関しては現在も協議中である。(3日付UN)

## 3 ガボン・ロシア協力

10日、アリ・ボンゴ大統領は、ロシア連邦麻薬流通監督庁副長官と会談し、麻薬取締りに向けた二国間協力について意見交換を行った。(11日付UN)

## 4 ボンゴ大統領によるエジプト公式訪問

17-20日、アリ・ボンゴ大統領はエジプトを公式訪問し、二国間協力に係る6つの協定に署名し、保健、技術、科学、外交、教育分野における協力強化で合意した。(19日付UN)

## 5 AU首脳代表団によるブルンジ訪問

25日、アリ・ボンゴ大統領は、ズマAUC委員長、デビー・チャド大統領、サル・セネガル大統領、ウルド・アブデルアズィーズ・モーリタニア大統領及びハイレマリアム・エチオピア首相とともにAU首脳代表団としてブルンジを訪問し、ブルンジの政党関係者、市民社会、宗教団体の代表者と会談した。(26日付UN)

## 【経済】

### 1 スタンダード&プアーズ格付け「ガボンB+」

スタンダード&プアーズは、原油及び金の価格下落を理由に、ガボンの国債の格付けをBB-からB+に格下げした。(1月31日付GR)

### 2 石油価格の自由化

2日、IMF及び世銀の勧告を受けて、ガボン政府は石油製品に対する政府補助金を廃止し、石油価格の自由化を決定した。右決定により、軽油価格は15CFAフラン、ガソリン価格は10CFAフランそれぞれ低下し、石油製品に対する政府補助金は社会政策に用いられる。2015年予算における右補助金は600億CFAフランであり、過去6年間の補助金総額は、7,000億CFAフランにのぼる。(2日付UN, 3日付GR)

### 3 中国による水力発電所支援計画

China Gezhouba Group Corporation (CGGC)は、マパング・エネルギー・水力資源大臣と会談し、ミチクの水力ダムFE2及びフガムーの水力発電所の建設計画開始に向けた協議を行った。両計画の実施にあたり、中国輸出入銀行エグジム銀行は1,190億CFAフランの借金を予定している。また、FE2建設計画の遅れに伴い、代替策としてオイエムの火力発電所の強化が実施された。(3日付GR)

### 4 ARCEPによる不正な通話利用対策

SIM Boxを利用した第三者による不正通話利用の対策として、ガボン政府は、フラ

ンス電気通信郵便規制機関（ARCEP）の技術支援を受けて、不正通話を検知し、不正な国際通話網の撤廃を実施する。（3日付UN）

#### **5 中国による職業訓練校の建設**

若年失業率35%の改善に向けて、中国による総額600億CFAフラン（約120億円）支援のもと、職業訓練校の整備・建設が実施される。中国輸出入銀行であるエグジム銀行の融資を通じて、リーブルビル、フランスビル及びポールジャンティの3都市に職業訓練校の整備・建設が予定されている。（9日付UN，5日付GR）

#### **6 油価下落に伴う予算執行の停滞**

2016年政府予算2兆6,260億CAFフランの執行にあたり、ガボン政府は、資金不足により国債の発行または公共投資の中断に迫られている。2016年予算執行にあたっての国債発行額は5,820億CFAフランであり、公共事業費5,630億CFAフランを上回るほか、予算・会計省は原油価格の下落に合わせた予算案を検討している。（9日付GR）

#### **7 Frontier Strategy Groupによるガボン市場耐性評価（24位／サブサハラアフリカ）**

米 Frontier Strategy Group は、社会経済の基礎情報に基づき、ガボンの市場耐性をサブサハラアフリカのなかで第24位、ECCASのなかで第4位に位置づけた。（10日付GR）

#### **8 ボンゴ大統領によるンコク経済特区訪問**

11日、アリ・ボンゴ大統領はンコク経済特区を訪問し、ガボン製鋼会社及び産業・医療ガス会社の操業式典に出席した。両施設にて、鉄鉱石の加工及び産業・医療用酸素の生成が行われる。（12日付UN，12日付GR）

*出典：PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社)*